

平成 27 年 12 月 21 日

各 位

東京都目黒区大橋一丁目5番1号  
株 式 会 社 S J I  
代表取締役社長 劉 天泉  
(JASDAQ: 2315)

問合せ先：  
執行役員 管理統轄本部 総務人事本部長  
矢沼 克則  
Tel 03-5657-3000 (代表)

平成 27 年 10 月期連結業績予想と実績値との差異および  
前期個別実績と当期個別実績との差異に関するお知らせ

平成 27 年 8 月 31 日に公表した平成 27 年 10 月期通期の連結業績予想と実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。また、当社個別の前期実績と今期実績との差異につきましても、下記のとおり併せてお知らせいたします。

記

1. 平成 27 年 10 月期（平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 10 月 31 日）連結業績予想値と実績値との差異  
(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 4,000	百万円 △311	百万円 △342	百万円 △6,053	円 銭 △39 06
今回実績 (B)	4,126	△265	△552	△6,060	△38 99
増減額 (B-A)	126	46	△210	△7	—
増減率 (%)	3.2%	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 3 月期)	30,340	337	253	△2,857	△34 60
(ご参考) 前第 3 四半期実績 (平成 26 年 12 月期)	26,606	616	707	287	3 48

(注) 決算期変更に伴い、当事業年度は7ヵ月の変則決算となっております。

(注) 平成 27 年 6 月 30 日付で第三者割当により発行される新株式（現物出資（デット・エクイティ・スワップ）および金銭出資）の発行、平成 27 年 10 月 29 日付で新株予約権の一部行使が行われております。そのため、1 株当たり当期純利益は、各時点での発行済株式数（自己株除く）を元に算出されております。

2. 連結業績予想値と実績値との差異が生じた理由

売上高および営業利益は前回発表の予想値をそれぞれ上回りました。経常利益については主に為替換算の影響により差異が生じました。前回発表当時は、前期末と比較し円安となったことから、当社の海外子会社である、恒星信息（香港）有限公司（以下、「SJI-HK」といいます。）上の負債、42,717,464.89USドル（連結消去前、平成 27 年 10 月末時点負債総額）が目減りし、SJI-HK 上で為替差益が発生すること

を見込んでおりましたが、10月末の時点で円高にふれたことから、当初見込んでいた為替差益は発生せず、前回発表の予想値を下回る結果となりました。これにより親会社株主に帰属する当期純利益に影響がでておりますが、平成27年8月31日付「元取締役に対する損害賠償請求にかかる合意書の締結および特別利益の計上見込みに関するお知らせ」にて開示しましたとおり、特別利益として約198百万円の受取損害賠償金を計上しており、結果としては、前回発表予想値と大きな差異はございませんでした。

なお、本日付で「平成27年10月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」を開示しておりますので併せてご参照ください。

### 3. 前期（平成27年3月期（平成26年4月1日～平成27年3月31日））の個別業績と今期（平成27年10月期（平成27年4月1日～平成27年10月31日））個別業績との差異

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績 (A) (平成27年3月期)	百万円 8,381	百万円 △18	百万円 △437	百万円 △13,823	円 銭 △167 38
今期実績 (B) 平成27年10月期	4,126	△198	△372	△421	△2 71
増減額 (B-A)	△4,255	△180	65	13,402	—
増減率 (%)	△50.8%	—	—	—	—
(参考) 12ヵ月換算額	7,073	△339	△638	△722	—

(注) 決算期変更に伴い、当事業年度は7ヵ月の変則決算となっております。

(注) 平成27年6月30日付で第三者割当により発行される新株式（現物出資（デット・エクイティ・スワップ）および金銭出資）の発行、平成27年10月29日付で新株予約権の一部行使が行われております。そのため、1株当たり当期純利益は、各時点での発行済株式数（自己株除く）を元に算出されております。

(注) (参考) の12ヵ月換算額は、4月～10月の7ヵ月分を単純平均し、12を掛けたものであります。

### 4. 個別業績の差異が生じた理由

当社は平成27年10月1日開催の臨時株主総会において、当社の決算期（事業年度の末日）を3月末から10月末に変更いたしました。これにより平成27年10月期は、平成27年4月1日～平成27年10月31日の7ヵ月間の変則決算となりました。売上高、営業利益の主な差異は、7ヵ月変則決算であることに加え、特設注意市場銘柄指定による当社への発注の影響による売上高・営業利益の減少であります。経常利益の主な差異は、支払利息等の金融費用の減少であります。当期純利益の主な差異は、前期において、子会社債権に対する貸倒引当金の計上や子会社株式の減損等の臨時費用が発生したことが要因であります。

なお、随時顧客への説明を行い、信頼回復をはかったことで、売上高は、計画値は上回っております。また、営業利益は平成27年9月以降、単月黒字を継続しております。

以 上